

## 『古代吉備』バックナンバーのお知らせ

【最新集】第32集 2021年6月 本文92頁 1,300円

### 第31集 2020年6月 本文74頁 900円

- 一尺谷池東遺跡の年代学的研究 遠部 慎・菅 紀浩・米田 穰・畑山 智史(1)  
縄文・弥生時代の指輪についての比較研究 大森 好乃(16)  
土器棺墓における特殊な蓋構造とその意義 南 健太郎(39)  
岡山県における象眼鏝について―赤磐市岩田6号墳出土鉄製板鏝の保存処理を経て― 有賀 祐史(54)  
備前市惣田奥12号墳の測量調査―石棚をもつ横穴式石室(3)― 吉久 正見(67)

### 第30集 2019年4月 本文46頁 650円

- 特殊器台成立期の製作技術―岡山市雲山鳥打1号墓採集資料の検討から― 南 健太郎(1)  
古墳出現期の瀬戸内における鉄鏝の生産と流通―浦間茶臼山古墳出土鉄鏝を中心に― ライアン・ジョセフ(13)  
作山古墳出土埴輪の胎土分析 白石 純・平井 典子(33)

### 第29集 2018年4月 本文46頁 650円

- 岡山市津寺遺跡出土のヒスイ玉の位置付け 木下 尚子(1)  
弧帯文の特性 宇垣 匡雅(12)  
岡山県下のいわゆる「滑石」製石鍋・「滑石」製品について 南 健太郎(32)

### 第28集 2017年4月 本文94頁 1,100円

- 銅鐸使用形態の転換過程 南 健太郎(1)  
吉備南部における弥生後期土器の実相 平井 典子(15)  
瀬戸内市亀ヶ原32号墳の副葬品 宇垣 匡雅・南 健太郎・馬場 昌一(35)  
吉備の須恵器生産の始まり 田中 清美(44)  
岡山県円光寺遺跡出土の馬形埴輪―赤磐市山陽郷土資料館寄贈資料から― 有賀 祐史(63)  
備後寺町廃寺と上山手廃寺の再検討―「三谷法師寺」と「三谷尼寺」の提唱― 妹尾 周三(76)

### 第27集 2016年4月 本文78頁 850円

- 平井西山(操山109号)古墳資料の研究 福永 伸哉・宇垣 匡雅・古市 秀治(1)  
平井西山(操山109号)古墳出土朱の硫黄同位体分析による産地推定 南 武志(20)  
岡山県窪木宮後遺跡出土ヒスイ勾玉未製品の再検討 米田 克彦(26)  
特殊器台祭祀の性格とその波及 宇垣 匡雅(36)  
岡山県における弥生時代後期の絵画土器 平井 典子(58)

### 第26集 2014年12月 本文60頁 800円

- 円形基調の分銅形土製品の型式編年と地域性 柴田 英樹(1)  
玉野市日比沖銅鐸 宇垣 匡雅(26)  
楯築遺跡の研究前史 宇垣 匡雅(31)  
7世紀「吉備」に関する基礎的考察―北房地域の終末期古墳をめぐって― 広瀬 和雄(35)

### 第25集 2013年4月 本文70頁 800円

- 墓と集落および人口からみた弥生-古墳移行期の社会変化―吉備南部を分析対象として― 松木 武彦(1)  
吉備南部の弥生墳丘墓の斜面施設 宇垣 匡雅(22)  
和気町新林古墳 亀山 行雄・宇垣 匡雅(34)  
備前における国分寺造営期の造瓦―備前国分寺の軒瓦から― 有賀 祐史(43)  
出崎船越南遺跡出土土器付着炭化物について 松本 直子・松谷 暁子・國木田 大・吉田 邦夫(57)

※第24集以前のものは、要応談願います（機関向けの販売は、一律に一部500円としています）。